

第7回 鴨川市前原横渚海岸周辺の魅力づくり推進委員会 会議録

■開催日時・場所・出席者

日時 : 平成31年1月22日(木) 午後2時00分から午後3時40分まで

場所 : 鴨川市役所4階大会議室

出席者 : 以下のとおり

【出席委員】

No.	氏名	備考
1	鈴木 健史	(一社) 鴨川市観光協会 会長
2	水谷 好伸	鴨川ライフセービングクラブ 会長
3	中橋 健二	鴨川シーワールド 営業推進支配人
4	菅原 明善	(一社) 鴨川市青年会議所 副理事長
5	立野 健児	鴨川ライオンズクラブ若獅子支部
6	渡辺 淳一	城西国際大学観光学部 教授
7	内山 達也	城西国際大学観光学部 准教授
8	鈴木 淳	学校法人文理開成学園文理開成高等学校 理事長・校長
9	橋詰 良子	地域おこし協力隊
10	大内 洋	公募による市民
11	岡野 大和	公募による市民
12	川上 周一	公募による市民
13	林 良樹	公募による市民

【欠席委員】

No.	氏名	備考
-----	----	----

1	藤巻 武仁	(一社) 鴨川市観光協会 副会長
2	清水 宏	鴨川市商工会 観光サービス業部会長
3	福田 雄一郎	鴨川市商工会 前青年部長
4	徳山 英樹	鴨川市漁業協同組合 総務部長
5	久根崎 達郎	鴨川温泉旅館業協同組合 専務理事
6	川井 幹雄	鴨川サーフィンクラブ 会長
7	村永 信吾	鴨川市健康づくり推進協議会 会長
8	原田 洋美	NPO 法人鴨川ガイド協会 理事
9	庄司 修	公募による市民

【業務委託請負業者等】

No.	氏名	備考
1	安田 景憲	鴨川観光プラットフォーム株式会社 事業推進統括
2	豊島 まゆみ	豊島まゆみ事務所 代表 鴨川市プロジェクトマネージャー
3	小島 由光	プロジェクトマネジメントスタッフ 株式会社スーパーソニック代表取締役
4	牧本 達朗	プロジェクトマネジメントスタッフ パースペクティブ合同会社 代表
5	小川 直久	鴨川サーフィンクラブ プロサーファー

【市行政関係者】

所属・職	氏名	備考
鴨川市建設経済部長 兼商工観光課長	平川 潔	事務局

鴨川市建設経済部 商工観光課長補佐	小柴 則明	事務局
鴨川市建設経済部 商工観光課 観光振興係長	影山 光一	事務局
鴨川市建設経済部 商工観光課 新たな観光づくり係 主査	濱野 和明	事務局

■配布資料

- ①次第
- ②席次表
- ③フィッシャリーナ周辺、構想図面（川上委員提供資料）
- ④商店街活性化イメージ
- ⑤海と月のオフィスKURAGE
- ⑥鴨川市海辺の魅力づくりに関するアンケート調査【調査票】案
- ⑦海辺倶楽部資料等
- ⑧2019年度地方創生推進交付金実施計画抜粋

■会議要旨

1 開会（午後5時00分）

2 委員長あいさつ

渡辺渡辺委員長よりあいさつがなされた。

委員長から、本日の会議の議事録署名人として、水谷委員及び中橋委員が指名された。

3 議事

(1) 各種事業の進捗状況について

◎豊島プロジェクトマネージャーより、これまでの経過の説明。

小島氏にはエリア計画の取りまとめを行ってもらっている。お金を出してでも借りてくれるイメージを持って進めている。

チャレンジショップについては、唯一貸す意思のあった空き店舗（A-18）については現地調査を行ったが、設備面等での課題が多く、ここを貸し店舗として調整するには、むずかしいと判断した。

プロジェクトマネジメントスタッフにより、現地（商店街周辺）を視察し魅力を感じられる空き店舗を調整することとしている。

前回の会議（12/13）の会議で人の集まる拠点は必要との意見もいただいていたところである。文理開成高等学校鈴木理事長から一教室を無料で借りられることとなった。貸し店舗の具体的な

一步として活用をしたい。

教室の環境として4階にあり、東条海岸からフィッシャリーナまで一望のできる好条件の教室である。一般生徒の教室とは、区切りもされている状況であるが、貸し事務所等での活用を考えるとネットワークやエアコン等の観光整備が必要となる。ただし、学校であるため、長期間（5年10年は難しいのではないのではないか。また、契約者が誰にするのかも検討が必要である。

◎事務局よりフィッシャリーナ後背地の土壌調査について説明。

前回会議において、フィッシャリーナ後背地の土壌について問題提起がなされたため、土壌調査を行うこととした。1/29から31の期間で50箇所の土壌を調査する。

◎川上委員より、資料③により説明がされた。

前回の資料をもとにイメージ案をまとめたもの、ここには、太海地区で試験的に行ったシェードボックスの活用を書かせてもらった。

砂浜の活用について、常設については許可が難しいと思われるため4ヶ月程度の占有手続きでやれば問題がすくないのではないかと考える。

(岡野委員) 平塚ではベルマーレ平塚が度あるごとにビーチコートの設置を行っていた。県(?)が不憫に思ったのか、年間を通じての常設コートとして許可をしたようである。

(川上委員) 基本的には許可関係のハードルが低い中でやったほうがよいと考える。

(岡野委員) 案にあるビーチコートについては、ビーチサッカーの設定であれば、ビーチバレー等はそれよりもサイズが小さいため問題がないのではないかと思う。

ここで使用する砂については前原海岸の黒砂とは違うものを入れたほうがよい。

西宮のコートでは、輸入砂を使用しており飛び砂が少ないとの話をきいた。

横浜でも輸入砂を使っているが、猫が入っていないと聞いている。

(?委員) 文理開成高校は拠点とするのか? 想定する役割はどのようなものか?

いずれにしても市民会館は使用しないほうがよい。

文理開成はクリエイター向きに整備を考えている。

(鈴木健史委員) 受付や倉庫として使用するためのアクティビティステーションが必要。

(豊島) 予見が必要。

(渡辺委員長) いろいろな活動をしていく拠点が必要である。

運営していく拠点、関連する事業をすすめていくシェアオフィス等も必要となってくる。

(岡野委員) ビジネスオフィスとして文理開成高校を使うのもよい。

(鈴木健史委員) 拠点がたくさん出来てしまう。将来的にエリアマネジメントをどうするのか?

(渡辺委員長) 市民会館の場所はよい。

(鈴木健史委員) 市民会館の場所は、アクティビティの拠点として必要である。

(渡辺委員長) 朝から晩まで、考える人が必要。人が大事である。

商店街の活用なども含めていく。

(岡野委員) 新町どおり商店街を管理している組合がなくなってしまう。どこが、商店街のことを考えるべきなのかも課題。

(2) マリンスポーツ等を中心とした多様なレクリエーション機会の提供事業について

(P F 安田) 川井委員からのプラン(サーフィンについて、手ぶらで修学旅行等でも活用できる。)

を受け、調整にあたってきた。担い手がむずかしい状況であったが、本日お越しいただいた、プロサーファーの小川さんに調整をしてもらった。

(小川) サーファーは、なわばり意識がつよく、それぞれの場所の特性が目立ち、やっかみがある。今回の話し(プラン)を鴨川サーフィンクラブに持ちかけたところ、協力してくれることとなった。

必要な備品としては、サーフボードとウェットスーツで30から50、ただしどこで保存するかが課題である。市民会館か文理開成高校の一角一室を借りられれば、水道もありよい。

手ぶらでサーフィンができるというサービスは、ショップ単位でしているところもある。

鴨川サーフィンクラブは11のサーフショップが役員となっているが、ショップオーナーとスタッフ、プロサーファーが教えることを担当する。場所と道具があれば対応が可能である。(鈴木健史委員) プロサーファーがいると、水に対する安心感が出てくる。

また、SUPも最近よく目にする。

(小川) 食とアクティビティとをコラボしたはとバスツアーがある。

サーフィンについては、企業からの依頼が増えてきている。サーフィンをする人は社長さんが多く、仕事を忘れてリフレッシュできるといっている。

(岡野委員) 自分はスポーツコミッションのプロジェクトに参画しているが、平日にほどよく来てくれる企画を考えている。世界的にも健康ブームであり、健康をキーワードとして、食・宿泊を絡めるものである。

(小川) 企業も興味を持つと思う。

(岡野委員) 企業向けに売りこみにいきたい。

これらを進めていくには、たとえば、サーフィンについては、サーフィンクラブがお客さんとのコーディネートをしていくのは、大変である。この部分にたいして組織体や事務局が必要となってくる。現在、スポーツプロジェクトでNPO法人「2枚目の名刺」と取り組んでいるが、関係者は「鴨川ってサーフィンだよ」といっている。3/20水曜日の平日に、ユニバースホテルを利用した、企画をしている。そこで、サーフィンを取り入れたい。

(豊島) 市民会館は先日、チャレンジショップを検討しているプロジェクトメンバーで見してきた。ボードを置けるスペースもありそう。通年できるサーフィンとそれにプラスしてSUPをとり入れるのもよいかも。

(小川) SUPは小湊が向いている。

(鈴木) SUPは一般の人の目や耳に入らないので、あまり注目や話題になっていない。

(渡辺委員長) 市民会館は3月までは予定が入っているが、それ以降は活用できるか?

(平川部長) 市民会館は壊すという選択肢も考えられ、(保存場所)は別の方法を考えてほしい。

(渡辺委員長) サーフィンへの支出としては、いくらくらいになりそうか。

(安田) 300万円程度を予定している。

(小川) フィッシャリーナ側はエリアが狭すぎる。初心者けには別の場所としては城崎がよい。ただ、前原が一番やりやすく、夏時期は波が小さく、サーフィン教室をやった際には一度も中止となったことがない。

移動手段として、ところどころにバギーを有料で配置してはどうか。

また、自分はLDHという事務所(エグザイルなどがある)に所属しているが、自分のマネー

ジャーの上司が、ビーチサッカー協会の理事長で元サッカー日本代表のラモスやビーチバレー連盟会長の川井俊一とつながりがあり、前原のとりくみを話したら、興味をもっていた。様々なビーチスポーツの開催などビーチフェスなどができたらよいと思う。

(鈴木淳委員) 文理開成高校が創立 90 周年を迎える、自分も理事長となり 7 年目である。日本のサーフィンの拠点として学校としても協力をしていきたい。空き教室の活用は 4 階の教室であるが、学校なのでしっかりした管理と、生徒へのリスクはしっかりしたい。

(鈴木健史委員) ネットエージェントの話あり。

(平川部長) 市民会館は耐震性が危うい。予約も 3 月まででとめているため、今後の活用について、海辺の事業で検討をしていきたい。

(林委員) 大多喜町では、林業により森を何とかする事業に取り組んでいる。房総も林業があり、森を整備すると最下流となる海もきれいになる。

(渡辺委員長) そのた備品等の購入等については (プラットフォームで) 進めてください。

(3) 平成 31 年度地方創生推進交付金について

⑧2019 年度地方創生推進交付金実施計画抜粋により説明。

変更した部分について主に説明。

平成 31 年度については推進委員会の開催を予定していなかったが、継続して協議してもらうことを想定し、経費を計上した。

また、拠点整備として、委員会で協議されたものをもとに、駐車スペースと多目的広場の整備として 57,777,000 円を計上した。

(4) その他

次回の会議について、各事業の進捗状況で開催を調整させていただく。

地質調査については、検査結果が出たら連絡をさせていただく。

4 閉会 (午後 3 時 40 分)

鴨川市附属機関等の会議の公開に関する実施要領第 7 条第 3 項の規定により、会議録の内容について確認します。

平成 31 年 1 月 26 日

中橋 健二

水谷 好伸